

東芝パッケージエアコン

(空冷インバータヒートポンプ式床置形スタンドタイプ)

【平成26年度グリーン購入法適合】

定格冷房能力	(注1)	kW	25.0	<6.0~28.0>	室形名	ROA-AP2805HZ	
定格冷房時の顕熱比	-	-	0.80	-	外装	シルキーシェード(ワッ1Y8.5/O.5)	
定格暖房標準能力	(注1)	kW	28.0	<6.0~31.5>	外形寸法	高さ	mm
						幅	mm
						奥行	mm
定格暖房低温能力	(注1)	kW	24.0	-	総質量	kg	
					形式	全密閉形	
冷房エネルギー消費効率	-	-	2.40	/ 2.40	圧縮機電機機	kW	5.50
暖房エネルギー消費効率	-	-	3.34	/ 3.34	極数	4	
冷暖平均エネルギー消費効率	-	-	2.87	/ 2.87	空気熱交換器	フィンドチューブ	
					冷媒制御	(冷)	電子制御弁
						(暖)	電子制御弁
中間冷房能力	(注1)	kW	12.5	-	送風機	プロペラファン	
中間冷房消費電力	kW	3.70	/ 3.70	-	標準風量	m³/min	150.0
中間冷房エネルギー消費効率	-	3.38	/ 3.38	-	電機機	kW	0.100+0.100
中間暖房能力	(注1)	kW	13.2	-	高圧スイッチ	MPa	作動：4.15 復帰：3.20
中間暖房消費電力	kW	3.51	/ 3.51	-	低圧スイッチ	MPa	-
中間暖房エネルギー消費効率	-	3.76	/ 3.76	-	保護装置	吐出温度セーフ 過電流セーフ 圧縮機セーフ	
					ケースヒータ	W	-
					騒音値	(冷)	dB
						(暖)	dB
通年エネルギー消費効率	-	-	3.6	-	冷媒・出荷時封入量	kg	R410A・5.90
					冷媒追加不要の最大実長	m	30
					冷媒追加量	g/m	主配管：80 分岐配管：40
電気特性	(注2)	-	-	-	冷媒配管	室外機・分岐管間	mm
電源	(注3)	三相	200V	50/60 Hz		分岐管・室内ユニット間	mm
定格冷房消費電力	kW	10.43	/ 10.43	-		最大実長	m
定格暖房標準消費電力	kW	8.39	/ 8.39	-		最大落差	m
定格暖房低温消費電力	kW	10.18	/ 10.18	-		分岐配管最大長さ	m
						分岐配管長さの最大差	m
運転電流	(冷)	A	31.7	/ 31.7	電源設計	漏電遮断器	(注14)
	(暖)	A	25.5	/ 25.5		手元開閉器	容量
	(最大)	A	35.9	/ 36.3		ヒューズ	A
力率	(冷)	%	95	/ 95		配線用遮断器	A
	(暖)	%	95	/ 95		電源配線	20m以下
始動電流	A	-	/ -	-			(注13) 50m以下
室内ユニット	(注4)	-	-	-			
外形装	前面キャビネット	AIF-AP1405H-1		-			
	側面キャビネット	ワットシート (ワッ1Y8.5/O.5)		-			
	吸込み・吹出しグリル	ワットシート (ワッ1Y8.5/O.5)		-			
外形寸法	高さ	mm	1,750	-			
	幅	mm	600	-			
	奥行	mm	390	-			
総質量	kg	65	-	-			
空気熱交換器	フィンドチューブ		-	-			
防音・断熱材	難燃性ポリイソシアネート・ポリフネン		-	-			
送風装置	送風機	シロッコファン		-			
	標準風量	m³/min	36.0	-			
	電機機	kW	0.160	-			
エアフィルタ	室内ユニットに付属		-	-			
運転調整装置	室内ユニットに内蔵		-	-			
ドレン口径(呼び径)	20(塩ビ管)		-	-			
騒音値(急・強・弱)	dB	54 - 49 - 44	-	-			

(注1) 冷暖房能力は、JIS B 8615-1条件によります。
< > 内は能力範囲を示します。

(注2) 電気特性は、JIS B 8615-1条件によります。

(注3) 電源電圧は、変動があった場合でも±1.0%を超えないようにしてください。

(注4) 同一室内ユニットを2台使用し、表示は室内ユニット1台あたりの値を示します。

(注11) 室外機と室内ユニット間の配線が70mを超える場合(120m以下)は端子番号①②と③を別々のケーブルで分けて配線してください。

(注13) 各線径での最大こう長は下記参照願います。

線径	電源線こう長(最大)
単線1.6mm	-
単線2.0mm	-
撚線5.5mm ²	-
撚線8.0mm ²	-
撚線14.0mm ²	34
撚線22.0mm ²	54
撚線38.0mm ²	93

(注14) 漏電遮断器が地絡保護専用の場合には手元開閉器+ヒューズ、または配線用遮断器を設けてください。
漏電遮断器は、高調波対応品を使用してください。